

事務所長からのメッセージ

- 3月10日に発表しました「[金融経済概況（道北地区）](#)」では、道北地域の景気の基調的な判断を「やや弱めの動きが続いている」としました。昨年12月に「やや弱めの動きとなっている」に下方修正しましたので、その後3ヶ月間連続して判断を据え置いています。大きなトレンドは不変ですが、一つだけ細かい変化点をご紹介しますと思います。
- それは、住宅投資の減少幅が、徐々にではありますが、縮小してきていることです。昨年来、景気分析を行う者にとってやや意外な展開となった出来事の一つに、改正建築基準法施行(6月20日)の影響があると思います。もちろん耐震強度を高めること、審査を厳格に行うことは国民生活にとってとても重要なことです。ただ、その経済への影響は想定していたよりも大きかったというのが多くの方の印象ではないでしょうか。住宅建設の減少は、単に住宅投資のみならず、耐久消費財を中心とした個人消費にも影響があったと思います。その住宅投資が当地の統計では昨年10月頃をボトムに、持ち直してきているのではないかと思います。旭川地区をみると、昨年11月頃から徐々に前年同月比でみた減少幅を縮小させてきていまして、本年1月の建築確認床面積、申請件数、住宅戸数は全て前年同月を上回りました。道北地域全体としては、まだそこまで来てはいませんし、冬場の建築は限定的ではありますが、全体として減少幅が縮小してきています。今後のトレンドとなるかどうか注目したいと思います。
- 旭川では、この3月8日、9日に第28回バーサーロペット（Vasaloppet）ジャパンが開催されました。これはスウェーデン建国の父バーサー王にちなんだ名前で、クロスカントリーと歩くスキーの大会です。約3千名が参加しました。北国の醍醐味の一つです。左下の写真をご覧ください。

平成 20 年 3 月 10 日

尾家 啓之